

—人と動物、環境の健康はひとつ—
ワンヘルス推進宣言

北九州市獣医師会 会長 関 ^{せき} ^{かずや} 一弥氏からの挨拶

北九州市獣医師会 会長の関です。

北九州市獣医師会は、動物医療の充実・発展と動物愛護及び適正な管理を図り、また畜産の振興及び公衆衛生の向上に取り組んでいるところでございます。

そして、獣医師の活動は、動物の臨床分野のみならず、農林水産分野、公衆衛生分野など、多岐にわたり、動物の命に直接関与するだけでなく、食肉検査など間接的に人の生命にも大きく関わりをもちながら重要な責務を担っていると認識しています。

2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、世界中に瞬く間に蔓延した。また、国内では野鳥や鶏において高病原性鳥インフルエンザが流行しており、更に重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の感染が拡大しつつあると考えています。

このような中、獣医師会では、公益法人として、『ワンヘルスの理念』のもと、人と動物が共生する社会及び動物愛護精神の高揚のための活動を本年度も実施しております。

このたび、北九州市において『ワンヘルスの理念』を、行政及び医師会と共有し、全市を挙げて取り組んでいく、この取り組みが獣医師会として大変有意義であると考えています。

最後に、人と動物の共通感染症をはじめとした課題に関しては、医療・獣医療や関係する各分野における連携が重要であり、獣医師会としては、北九州市の決意に賛同し、医師会と連携、そして協力してまいりたいと思っております。